

▲▽海の道▲▽豊島を巡る

「海の日」の復権 瀬戸内国際芸術祭「海の復権」①

小豆島豊島フェリーの「フェリーてしま」に乗船し、豊島の2つ目の港「唐櫃港」に到着すると、目の前には島内を循環するバスの停留所があり、バスに乗ろうと思ったところ、3mほど先に「レンタル自転車」の旗が見えました。先ほど、井手船長に「壇山の頂に自転車で登ります」宣言をしたことを思い出し、自転車を借りることにしました。

フェリー乗り場でいただいた豊島ガイドマップを見つめ、島の東端にある「心臓音のアーカイブ」と「勝者はいないーマルチバスケットボール」を巡りました。心臓音のアーカイブは、これが瀬戸内の海か、と驚くほど美しい浜辺に建つ、別荘のように洒落た家です。目の前の海、浜辺がプライベートビーチのようで、心まで豊島、ではなくて豊かになりそうです。入館料を支払い、世界の有名人の心臓の音を聴きました。

最初はおっかなびっくりだったのですが、他人の心臓の音を聴いていると、白衣を着たお医者さんの気持ちがわかるような、わかりたくないような、微妙な気持ちになりました。今度、来ることがあれば、白衣を用意して聴くのもありかなと思ってしまいました。「自分の心臓の音も聴かないのに、他人の心臓の音を聴くというのも、現代アートは理解が難しいな」と思いながら、「勝者はいないーマルチバスケットボール」へ向かうと、春会期が終わり夏会期準備中のためか、人の姿も見えず、一人でバスケットボールのゴールへシュートしてみました。豊島の形をした板にゴールが6つもあり、制作者の意図が読み取れないのが残念でした。

「海員だより」